

## ② 「三つの話し方」を考えよう

実践事例

話し方の3つのスタイルを知り、それぞれの特徴を理解する

### 指導計画

お互いを理解し合うためには欠かせない話すという行為。日常よくある場面を、「三つの話し方」(「おどおどさん」「いばりやさん」「さわやかさん」)で演じたビデオを見ることで、それぞれの特徴や違いを考える。

めあて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人と言葉でコミュニケーションするときの話し方の3つのスタイルを理解する。</li> <li>● 「三つの話し方」のスタイルの特徴をおさえ、それぞれの話し方が自分や相手にどのような影響を及ぼすかに関心をもつ。</li> </ul>
指導のプロセス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループワークのねらいを伝える。 日常生活の中で友だちや先生や親などからの言葉かけで勇気付けられたり、やる気になったりした経験などを話し合う。</li> <li>2 「三つの話し方」のシナリオ1のオリジナルビデオを見せる。</li> <li>3 自分の考えをワークシートに記入させる。 ビデオでは、それぞれが異なった話し方をしていることに気づかせ、どのような違いがあるのかに焦点を当てる。</li> <li>4 「三つの話し方」のシナリオ2のオリジナルビデオを見せる。</li> <li>5 自分の考えをワークシートに記入させる。 同じような話し方から共通する点に気づかせ、自分や相手がどのような気持ちになるかに着目させる。</li> <li>6 「三つの話し方」についてのワークシートを完成させ、その特徴を確認する。 子どもから出てきた言葉を板書し、典型的に分類する。それぞれの話し方の特徴を確認していく。(短冊などに書いて掲示してもよい)</li> <li>7 「三つの話し方」についてふりかえる。 自分や友だちは普段どのような話し方をしているかを考えるきっかけとする。話し方には「いばりやさん、おどおどさん、さわやかさん」のスタイルの話し方があることを伝える。</li> </ol>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人と言葉でコミュニケーションするときには、3つのスタイルがあり、それぞれを「いばりやさん、おどおどさん、さわやかさん」と呼ぶことにする。</li> <li>● 3つのスタイルでの話し方によるコミュニケーションが自分や相手にどのような影響を及ぼすかを考える。</li> </ul>

### 授業の流れ

赤・黄・青は何を表しているのかな

みなさんは言葉を使って相手に自分の気持ちを伝えます。今日は、同じ場面で違う話し方をするAさん、Bさん、Cさんがビデオに登場します。3人はどんな話し方をしているでしょう。

今日は言葉の学習をします。  
ここに3色の紙がありますが、  
言葉の勉強と何か関係があるのかな。

青はいい気持ち  
赤はおこってる  
黄色はふつうかな

黒板には、赤、黄色、青の模造紙が張ってあります。人とやりとりをするのに、「三つの話し方」があるということ的印象づけるためです。

「こういう言葉は使わない方がいいとか、こういう言葉を使った方がいい」ということを書くためです」  
子どもたちは、言葉から受けるイメージが3種類ありそうだという事に気づいたようです。

#### 「三つの話し方」シナリオ1

あーい

これから特別なビデオを見ますが、ビデオを見る前にまずセリフを読んでみます。

昨日はどうしたの？  
あっと待ってたんだよ

まず、相手役の子どもを選び、先生が「三つの話し方」を演じます。遊ぶ約束をしていた友だちがとうとう待ち合わせの場所に現れなかったという設定で、翌日その友だちに学校で会う場面です。次に、あらかじめ用意してあったビデオを見せます。同じ場面を上級生に演じてもらったものです。

だよ、昨日はどうしてなかったんだよ

今読んだのと同じ「三つの話し方」が出てきます。言葉に気をつけて、同じ場面をビデオで見てください。



同じ場面や同じ人に対してやりとりするのでも、話し方によってずいぶん違った印象を受けますね。Aさん、Bさん、Cさんの話し方についてどんなことに気づきましたか。

子どもたちは、Aさん、Bさん、Cさんの3人の話し方について気がついたことをワークシートに記入します。「Aさんは言葉づかいが悪い。Bさんは言いたいことを言ったほうがいい。Cさんはとてもいい言い方をしている」子どもたちの言葉で、次々とワークシートがうまっています。

Aさん、Bさん、Cさんはどんな話し方をしていたかな

気がついたことをワークシートに書きましょう。

子どもたちの発言をワークシートに記入した様子。ワークシートには「Aさんは言葉づかいが悪い。Bさんは言いたいことを言ったほうがいい。Cさんはとてもいい言い方をしている」という内容が書かれています。

ワークシートに記入された内容:

- Aさんの言い方はちょっとひどいな
- わたしもCさんのように話せるといいな
- Bさんはがまんしなきゃだよね

「三つの話し方」シナリオ2

今度は、先ほどとは違った場面でAさん、Bさん、Cさんの「三つの話し方」を比較します。友だちに貸していた本を返してもらったところ、あるページがとても汚れてしまっていたという設定です。シナリオ1と同じように、まず子どもと先生がシナリオを読み、続いてビデオを見ました。

今度は、さっきとは違う場面を「三つの話し方」で読んでみます。

子どもたちの発言をワークシートに記入した様子。ワークシートには「Aさんみたいな言い方は、ぜったいにしないようにしたい」「三つの話し方」が、それぞれどんな特徴をもっているか理解できたようです。

ワークシートに記入された内容:

- よくもこんなじやくしてくれただ
- この汚れ...ううん、仮でもない
- 前はこんなじやくなかつたと思っただけとどうだったかな?

ビデオを見ましょう。



Aさん、Bさん、Cさんの話し方は、それぞれどんな言葉で表せるでしょう。相手に対してどんな話し方をするかによって、お互いの気持ちもちょっとずつ違って来るようですね。

Aさん、Bさん、Cさんを表す言葉は何かな

子どもたちの発言をワークシートに記入した様子。ワークシートには「Aさん：いばっている/いじわる/わがまま/自分の気持ちを大切にすること」「Bさん：ひかえめでおとなしい/はっきりしない/いじけている/相手の気持ちを大切にすること」「Cさん：はきはきしている/自分も相手も大切にすること/さわやか」という内容が書かれています。

ワークシートに記入された内容:

- Aさんは「いばってる」かな
- Bさんは「はっきりしない」がいいかな

自分の考えを発表しよう

Aさんについてどう思ったか言える人。

「いじわるでわがまま」  
「いばっている」

Bさんはどうかな。

「はっきりしない」  
「ひかえめでおとなしい」

Cさんはどうかな。

「やさしい」  
「はきはきしている」

最後に、子どもたちからこんな感想が聞かれました。「Aさんみたいな言い方は、ぜったいにしないようにしたい」。「三つの話し方」が、それぞれどんな特徴をもっているか理解できたようです。

子どもたちは、Aさん、Bさん、Cさんの話し方を表すのにどんな言葉がよいかを考えます。ワークシートには、次のような言葉が並んでいます。

Aさん：いばっている/いじわる/わがまま/自分の気持ちを大切にすること

Bさん：ひかえめでおとなしい/はっきりしない/いじけている/相手の気持ちを大切にすること

Cさん：はきはきしている/自分も相手も大切にすること/さわやか

クラス全員でお互いの考えを発表し合い、「三つの話し方」の違いを確認しました。Aさんは「いばっている」「いじわる」、Bさんは「はっきりしない」「いじけている」、Cさんは「さわやか」「自分も相手も大切にすること」といった意見が出ました。そして、

Aさんーいばりやさん  
Bさんーおどおどさん  
Cさんーさわやかさん  
と名前をつけました。